

事前評価個表

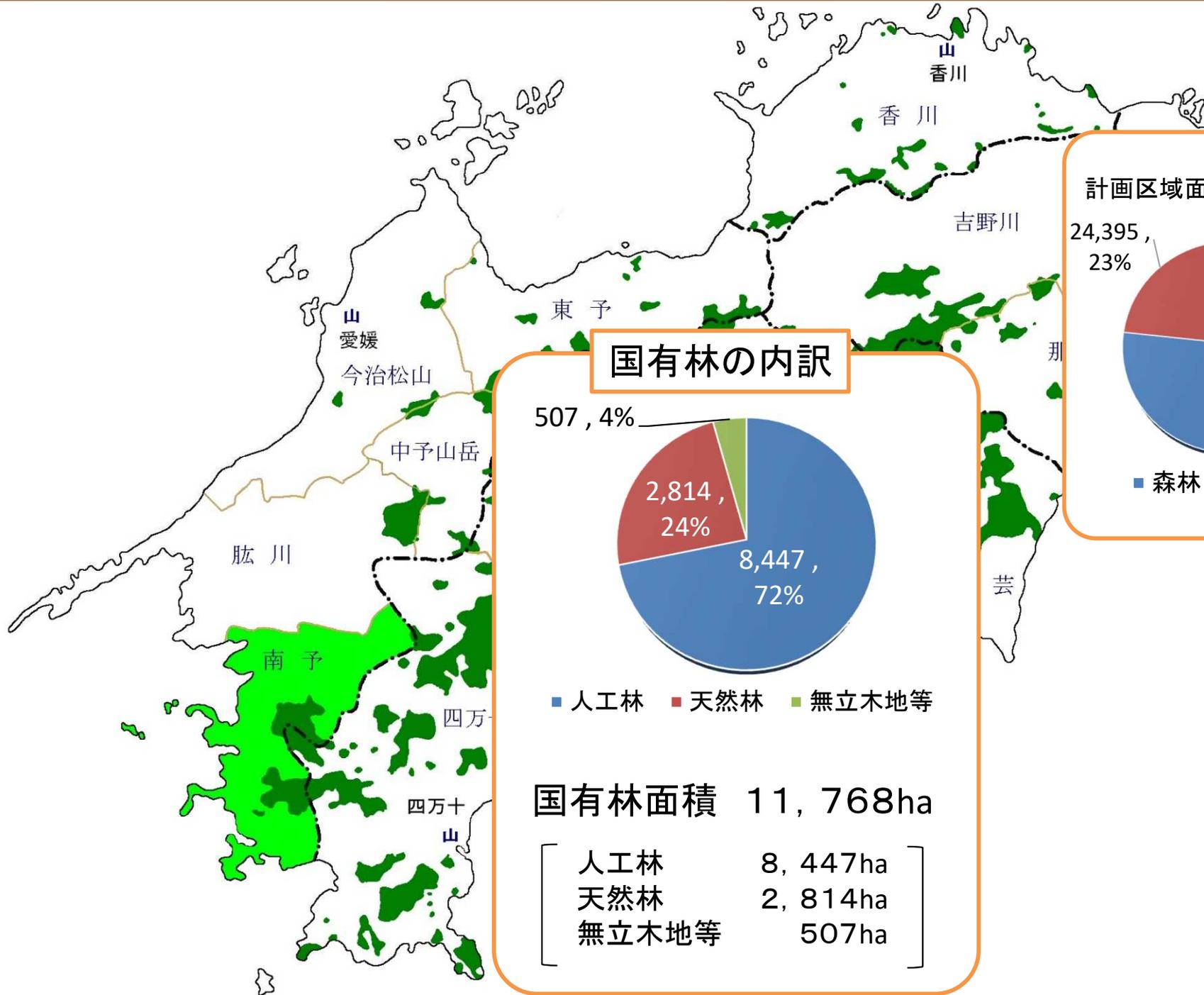
事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（なんよ） 南予森林計画区 （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本計画区は、愛媛県南端部に位置し、東部及び南部は高研山、大黒山、篠山等の諸山で高知県に接し、西部は宇和海沿岸部に面している。区域面積は105千haで森林はその77%の80千haとなっている。年平均気温は17℃、平均年間降水量が2,300mm程度と温暖多雨で林木の生育に適した気候下にある。</p> <p>国有林野は、森林面積の15%にあたる12千haで、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町に分布している。これらは宇和島市の上水道の約7割を供給する須賀川の上流域にある若山・八幡山に代表されるように、主に河川の上流域に位置しており、その9割が水源かん養保安林に指定されている。人工林率77%であり、ヒノキが67%を占めている。人工林の齢級配置は、6～12齢級の森林が約8割を占めており、長伐期化を推進していく中で、これらの高齢級化しつつある人工林についても適切な施業を進めていくことが必要である。天然林は、滑床山、篠山の周辺にまとまって存在しており、これらを中心に足摺宇和海国立公園及び篠山県立自然公園の特別地区が指定されている。</p> <p>このような本計画区の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化していること、とりわけ地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、林産物の供給や地域振興の寄与にも配慮しつつ、持続可能な森林経営及び開かれた「国民の森林」としての取組を推進することとする。</p> <p>特に、森林及び木材の二酸化炭素の吸収・貯蔵庫としての役割を高度に発揮させるため、間伐の推進等森林整備と木材利用の促進を適切に進めていくこととともに、国民の安全と安心を確保するため、重要な水源地域等において、治山事業をはじめ他の国土保全施策との連携を図っていく。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">・主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">152 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,715 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.2 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,042,577千円（税抜き 1,856,888千円）</p>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	152 ha			保育面積	2,715 ha		路網整備	開設延長	0.5 km			改良延長	11.2 km
・主な事業内容	森林整備	更新面積	152 ha																
		保育面積	2,715 ha																
	路網整備	開設延長	0.5 km																
		改良延長	11.2 km																
費用便益分析	<p>総便益（B） 3,835,824千円</p> <p>総費用（C） 2,302,948千円</p> <p>分析結果（B/C） 1.67</p>																		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>自然景観等の公益的機能の発揮と山地災害からの防備に寄与するため、適切な森林整備が求められている地域であり、必要性、効率性、有効性などの評価の観点から妥当なものとなっている。</p>																		

評価結果

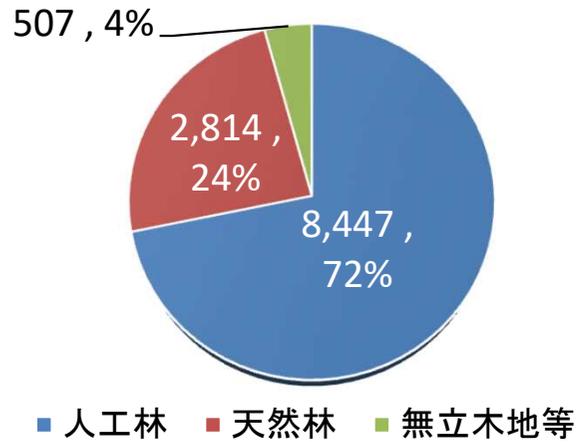
- ・必要性： 本計画区は、足摺宇和海国立公園や篠山県立自然公園の特別地区及び滑床山などの天然林を有する自然景観、環境の優れた森林を有しており、森林整備を通じた水源涵養及び自然休養林の保健休養等公益的機能の発揮が求められる地域である。適切な森林整備による水源の確保、山腹崩壊等の防備に加えて、災害時における路網の迂回路としての活用についても求められており、事業の必要性が認められる。
- ・効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、また、路網整備では、現地の地形、地質状況に適した工種及び作業仕様での路網開設によって、植栽から保育までの作業効率が高まり、作業コストの縮減に努めている。これらについては、費用便益分析の結果からも、本事業の効率性が認められる。
- ・有効性： 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて森林の有する公益的機能が十分に発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれるほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、有効な事業であると認められる。

新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。

南予森林計画区的位置図



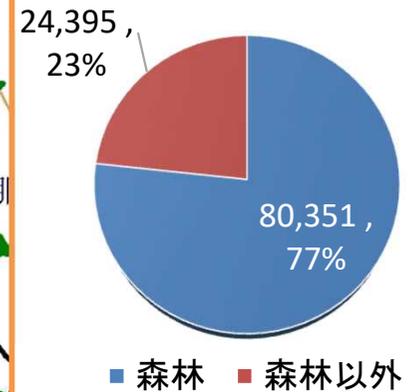
国有林の内訳



国有林面積 11,768ha

人工林	8,447ha
天然林	2,814ha
無立木地等	507ha

計画区域面積10万5千ha



様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：愛媛県

施行箇所：南予森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	734,129	
	流域貯水便益	249,504	
	水質浄化便益	929,773	
山地保全便益	土砂流出防止便益	587,623	
環境保全便益	炭素固定便益	238,463	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	543,182	
	木材利用増進便益	112,305	
	木材生産確保・増進便益	349,360	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,415	
	森林整備促進便益	89,070	
総 便 益 (B)		3,835,824	
総 費 用 (C)		2,302,948	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,835,824}{2,302,948} = 1.67$		